

技と発想で挑む! 自社の強みを活かした中小企業の挑戦



Contents

- ・ 畑ダイカスト工業(株) 7頁
- ・ マツダ紙工業(株) 8頁
- ・ 山本化学(株) 9頁
- ・ (株)吉村熔接所 10頁

東大阪市の製造業の特徴

中小企業は日本の全企業数のうち99.7%を占め、我々の生活に密接した財やサービスの提供を行っている。また、世界市場の獲得につながる先端技術や、地域で育まれた伝統と特性を有する多様な地域資源を活用する担い手となっている企業も多く存在する。

東大阪市内には高度な製造技術を誇る多種多様な業種の中小企業が数多く集積しており、日本有数の「モノづくりの街」として全国的に知られている。また、中小企業同士の連携も盛んで、地域のコミュニティや人材を活用し、地域に根ざした事業活動をを行うと共に、自社にない技術を相互に補完し合う「横請け」とよばれるビジネスモデルも東大阪の中小製造業固有の特徴でもある。

中小企業の強みとは？

中小企業には次の強みが認められる。

①多能工の存在

資金、人材、時間が限られる場合が多いことから、少数精鋭の組織で複数の役割を担える人材

が在籍している。

②意思決定の迅速性

組織構造が小規模であるため、柔軟かつ迅速な意思決定が可能であり、いち早くニーズを捉えて動き出すことができる。

③地域コミュニティとの近接性

地域コミュニティとの距離が近く、企業間連携の機会が多い。また、地域人材の活用や行政等の支援を受けることができる。

④経営者の影響力が大きい

経営者のビジョンや価値観が大きな影響を与えることから、経営ビジョンの明確化が容易である。

よって、中小企業は経営課題に対して独自の強みを最大限に活かしつつ、迅速かつ柔軟に対応することが求められる。経営手法を工夫し、地域や顧客との密接な関係を活かすことで、大企業には真似

この続きは会員事業所
のみご覧いただけます